



India Weekly

2021年1月25日



(対象期間：2021/1/18～2021/1/22)

【株式市場】SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2021年1月22日)



【株式市場】

週初は軟調となりましたが、イエレン次期米財務長官の追加景気対策に対する前向きな姿勢が好感されたことや、インド主要企業の10-12月期の決算発表が好調な内容となったことなどから投資家心理が改善し、株式市場は上昇しました。また、バイデン新政権の巨額財政出動への期待などから、米主要株価指数が過去最高値を更新したことを受けた買い意欲からSENSEX指数は一時史上初めて50,000台を突破しました。その後は利益確定の売りが先行し、週間では下落しました。

2021/1/15	2021/1/22	変化率
49,034.67	48,878.54	-0.32%

【債券市場】インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2021年1月22日)



【債券市場】

週初にインド準備銀行（中央銀行、RBI）が公開市場操作の実施を発表したことを受けて、インド10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。その後は米国での経済対策への前向きな発言や巨額財政出動への期待などから世界的に投資家のリスク志向が強まったことで利回りはやや上昇し、週間では小幅な利回り低下にとどまりました。

2021/1/15	2021/1/22	変化幅
5.950	5.906	-0.044

【為替市場】インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2021年1月22日)



【為替市場】

週初は、米ドルが1か月ぶりの高値まで上昇したことや輸入業者の米ドル需要が拡大したことなどを受け、ルピーは対米ドルで下落しました。その後は米国での大型経済対策に向けた巨額財政出動への期待などを受けてアジア通貨が総じて堅調な中、インド株式市場の上昇などが追い風となり、ルピーは上昇しました。しかし、週後半にはRBIの為替介入とみられる米ドル買いなどから上げ幅は縮小しました。

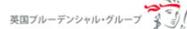
2021/1/15	2021/1/22	変化率
1.419	1.421	+0.13%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。 ※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。 ※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。 ※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。 ※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。 ※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会



英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシユアランス社とは関係がありません。